

# 令和2年度事業計画書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本翻訳者協会

## 1 事業実施の方針

日本翻訳者協会設立時の指針・使命を促進し、会員のための活動・事業を継続かつ、地域により偏っている活動を改善し、広範囲にわたり活動を広げ、本法人の公益性を増強する活動を積極的に取り入れる。また、既存および新規の会員に対して提供するサービスの内容を見直し、より適切なサービスを提供できるようにするために、ウェブサイトの更新を2015年度に始め、ほぼ完了したが、2020年度(令和2年度)は最終段階を完了する予定。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の金額(千円)
分野別分科会	分野別分科会は前年度に引き続き、法律翻訳、製薬翻訳、通訳、翻訳ツール、特許翻訳、エンターテインメント翻訳分科会による研修会・ワークショップを開催する。	各分科会とも年1～4回研修会・ワークショップを開催。6月にはIJET前に分科会(pre-IJET)を開催、合同でネットワーキングの機会を提供。	東京、関西、米国オハイオ州、インディアナ州など オンラインで	各分科会の実行委員数は約6～8名。 より多くのボランティア委員を募る予定。	会員および一般オンラインによるものは会員に限定。受益者は延べ約300人	629
地域活動委員会	東京地区活動委員会、関西地区活動委員会、東北地区活動委員会、米国中西部活動委員会(MAC)は翻訳・通訳に関する種々のトピックに沿い、ワークショップ、研修会を実施。 研修会の一部はウェブで公開。 海外在住の会員(本協会の約40%)のために、海外における地域活動委員会を設立、開催を奨励する。	東京地区活動委員会はほぼ毎月研修会またはネットワーキング・イベントを開催。	国内において は東京、関西地区他。 海外の活動はオハイオ、インディアナなどで実施。	各地域活動委員は平均6名。	会員及び一般。オンラインによるものは会員に限定。受益者は延べ約500人。	160
翻訳コンテスト	翻訳者養成の目的で、新人翻訳者を対象に、会員、非会員を問わず、広く募集し、英日翻訳部門で5名、日英翻訳部門で5名を受賞者として選出。	令和2年10月～令和3年3月	全国・海外	審査員(英日翻訳審査員3名、日英翻訳審査員)も含め13名	実務翻訳経験3年未満の会員および一般	839
eJuku	実務翻訳者にオンラインで1～2ヶ月間の翻訳ワークショップを提供。会員に対する有効な活動であり、分野別分科会にも働きかけ、活動を促進する。	令和3年春季	全国・海外	委員：3名	会員に限定。1グループ7～9名	0
エッセー集作成・配布	「2020翻訳者の目線」を出版。会員、企業、教育機関に無料配布。	令和2年6月～令和2年11月 発行予定日は令和2年9月末日	東京。 寄稿者は全国・海外	委員：2名	会員、一般、教育機関	605

英日・日英 国際翻訳会 議 (IJET)	英日・日英翻訳者・通訳者のために情報提供、ワークショップ、研修会を開催。国際会議直前にはブレIJETイベントも開催。 IJET-31（福岡）の準備は本年中に開始。	IJET-31の準備を開始。年度内にプレイイベントも実施予定。	エルガーラホール福岡市	IJET-31: 委員約10名 当日ボランティア約20名	会員および一般 IJET-31: 約150 ~180人の参加者を見込む。	IJET-31: 6268
ウェブサイ ト開発・管 理運営	ニュース、イベント告知、ブログ、JATディレクトリ、フォーラム・求人欄など。 会員以外への情報提供のために各種SNSも活用。 過去のイベントのビデオの視聴方法を改善する予定。 電子商取引システムによるチケット販売を、IJETだけでなくJATの通常のイベントにも拡張予定。 ウェブシステム(ExpressionEngine)のアップグレード、ウェブホストの移管。	通年	全国・海外	約20名	会員及び一般	2265 プラス1000 (開発費)
外部団体と の交流協力	JTF（日本翻訳連盟）の翻訳祭に参加する予定。 JSA（日本規格協会）からの協力要請で、マネジメントシステム審査員評価登録センター（JRCA）に運営委員を派遣。 ISO国内委員会に代表を派遣。 「通訳・翻訳ジャーナル」にリレーエッセーを連載。 IJETの活動に賛同する企業からの支援を募るためスポンサーシップ委員会を運営。	JTF翻訳祭は11月11日に開催予定。	JTF翻訳祭は横浜で開催予定。  JRCA、ISO国内委員会は東京で開催。	約4名	不特定多数	87
その他の事業：該当なし						